

衆議院政治倫理の確立及び公職選挙法改正に関する特別委員会ニュース

平成 28. 4. 27 第 190 回国会第 9 号

4 月 27 日（水）、第 9 回の委員会が開かれました。

- 1 ①衆議院議員選挙区画定審議会設置法及び公職選挙法の一部を改正する法律案（細田博之君外 4 名提出、衆法第 26 号）
- ②衆議院議員選挙区画定審議会設置法及び公職選挙法の一部を改正する法律案（今井雅人君外 2 名提出、衆法第 25 号）
- ・提出者細田博之君（自民）、逢沢一郎君（自民）、岩屋毅君（自民）、北側一雄君（公明）、中野洋昌君（公明）、今井雅人君（民進）、逢坂誠二君（民進）及び落合貴之君（民進）並びに政府参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
 - ・委員外議員（玉城デニー君（生活）及び吉川元君（社民））の発言について協議決定しました。
 - ・両案に対し、奥野信亮君（自民）、篠原孝君（民進）、角田秀穂君（公明）、塩川鉄也君（共産）及び浦野靖人君（おおさか）が討論を行いました。
 - ・②について採決を行った結果、賛成少数をもって否決すべきものと決しました。
（賛成－民進 反対－自民、公明、共産、おおさか）
 - ・①について採決を行った結果、賛成多数をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。
（賛成－自民、公明、おおさか 反対－民進、共産）
 - ・①に対し落合貴之君外 3 名（自民、民進、公明、おおさか）から提出された附帯決議案について、落合貴之君（民進）から趣旨説明を聴取しました。
 - ・採決を行った結果、賛成多数をもってこれを付することに決しました。
（賛成－自民、民進、公明、おおさか 反対－共産）

（質疑者及び主な質疑内容）

藤井比早之君（自民）

- ・現行の衆議院議員選挙区画定審議会設置法第 4 条において、衆議院議員選挙区画定審議会の小選挙区の改定に関する勧告は 10 年ごとに行われる大規模国勢調査の結果によることとしている理由について、総務省の見解を伺いたい。
- ・民進案（衆法第 25 号）においては、今回減員となる滋賀県及び沖縄県が、平成 32 年大規模国勢調査による見直しに際しては増員となり現行定数に戻る可能性が高いことについて、民進案の提出者の所見を伺いたい。
- ・自公案（衆法第 26 号）及び民進案により区割りの変更される可能性のある小選挙区の数について、自公案及び民進案の提出者の見解を伺いたい。

角田秀穂君（公明）

- ・自公案をまとめるに当たって、有権者の立場に立った選挙制度改革、将来に向けての安定した選挙制度に関してどのように考えたか、自公案の提出者の所見を伺いたい。
- ・民進案が平成 22 年大規模国勢調査に基づいて都道府

県別定数配分を行うこととした理由、また、これまでの議論を踏まえて、平成 22 年大規模国勢調査以外の人口を用いることは選択肢として考え得るか、民進案の提出者の見解を伺いたい。

- ・民進案の附則第 4 条第 1 項に規定されている「両院制の下で各議院が果たすべき役割」とは何か、民進案の提出者の見解を伺いたい。

初鹿明博君（民進）

- ・自公案及び民進案は、調査会答申にある制度の信頼性を確保するために国勢調査ごとの定期的な見直しの仕組みが必要であることを理解して作られたものであるか、自公案及び民進案の提出者の見解を伺いたい。
- ・自公案では平成 32 年大規模国勢調査まで抜本的改革が行われず、一人別枠方式の解消にはならないので、この間の総選挙に関して最高裁判所が違憲判決を出す可能性がある。このことの方が制度の安定性を欠くと思われるが、自公案及び民進案の提出者の所見を伺いたい。
- ・信頼性のある選挙制度への改革のためには、増減が少なくなるように定数配分に手を加えて決めるのではな

く、アダムズ方式による結果を遵守することが必要と考えるが、自公案及び民進案の提出者の所見を伺いたい。

穀 田 恵 二君（共産）

- ・主権者である国民の声を聞く公聴会などを開かずに、選挙制度改革の議論を短時間で終わらせることについて、自公案の提出者の所見を伺いたい。
- ・衆議院議員の総定数の在り方の基準について、自公案の提出者の所見を伺いたい。
- ・定数削減は国民との公約というが、民主党政権時の野田内閣総理大臣が「国民に増税をお願いする以上、政治家は身を切る改革が必要」と発言したことが定数削減をする理由なのか、民進案の提出者の所見を伺いたい。

浦 野 靖 人君（おおさか）

- ・国会の在り方の基本的な考え方について、自公案及び民進案の提出者の所見を伺いたい。
- ・自公案は将来の定数削減について触れていないが、それぞれの政党として将来の定数削減の方向性を持っているか、自公案の提出者の所見を伺いたい。
- ・議員定数を増やすことに対する各政党の現在の考え方について、自公案及び民進案の提出者の所見を伺いたい。

吉 川 元君（社民）

- ・自公案は、アダムズ方式による都道府県への議席配分は平成 32 年大規模国勢調査からとし、小選挙区定数 6 減には平成 27 年簡易国勢調査を利用することとしているが、利用する国勢調査が異なる理由について、自公案の提出者の見解を伺いたい。
- ・小選挙区比例代表並立制には民意の過度な集中という問題点があるが、今後の選挙制度の在り方について、自公案及び民進案の提出者の所見を伺いたい。

玉 城 デニー君（生活）

- ・自公案が、定数配分の基準となる各選挙区の人口を日本国民の人口に限ることとした理由について、自公案の提出者の見解を伺いたい。
- ・全国民を代表する国会議員を選出するための望ましい選挙制度の在り方を考える上で、人口が減少している地域の民意をどのように反映させるか、自公案の提出者の所見を伺いたい。